

ご挨拶

我が国は、少子高齢化が進み人口減少社会をむかえました。

2025年（平成37年）には団塊の世代が後期高齢者になるなど、今後医療や介護などで社会的負担が増えることから、地域包括ケアシステムなどを構築しながら、市民の誰しものが健やかで心豊かな人生を送れる社会の整備が急がれるところです。

また、肉食が増えるなど食生活が欧米化する中、食生活を改善し、運動習慣をつけるなど生活習慣が改善されなければ、がんや糖尿病、高血圧など生活習慣に起因する疾病の減少は難しいものと思われます。



本市では、平成15年2月に10年間を実施期間とした「第1期健康かしわら21計画」を策定し、その後、平成23年6月に策定した第4次柏原市総合計画に掲げる「地域のつながりの中で誰もが健康で安心して暮らしている」を第1番目の政策目標に、具体的な指針を示した「第2期健康かしわら21計画」を平成25年3月に実施期間を5年間として策定しました。

今般、この第4次柏原市総合計画に掲げる健康づくりは、市民一人ひとりが主体的になり「自分の健康は自分でつくる」という基本意識のもと、新たに食生活・栄養の分野を食育推進法に基づく「食育推進計画」を包含するものと位置づけて第3期健康かしわら21計画に加え、実施期間を5年間として策定する運びとなりました。

市民の皆様、関係機関の皆様には、本計画の着実な推進にあたり、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びになりますが、本計画の策定にあたりアンケート調査にご協力をいただきました市民の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました第3期健康かしわら21計画策定委員会の委員の皆様、関係団体の方々に心から感謝申し上げます。

平成29年3月

柏原市長 富宅正浩